

経済建設委員会記録

- 1 日 時 令和6年9月13日(金)
午前10時00分 開会
午前10時30分 閉会
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 出席委員 委員長 越智克範 副委員長 河内優子
委員 小野志保 委員 伊藤義男
委員 神野恭多 委員 高塚広義
委員 大條雅久 委員 仙波憲一
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者
・市長 石川 勝行
・企画部
次長(港務局事務局長) 上野 壮行 技術監 岩本 英浩
港湾管理課長 山下 武
・経済部
部長 宮崎 司 総括次長(地域交通課長) 小島 篤
観光物産課長 越智 美保 農林水産課長 菅 裕二
部長 高橋 宣行 総括次長(都市計画課長) 町田 京三
技術監 清水 康治 道路課長 亀井 英明
道路課技幹 黒田 雅人
- 6 委員外議員 片平 恵美 議員
- 7 議会事務局職員出席者
事務局長 山本 知輝 係長 伊藤 博徳
- 8 本日の会議に付した事件
(1) 付託案件審査
議案第66号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算(第3号)

9 会議の概要

○ 開 会 午前 10時00分

●越智委員長：開会挨拶

○石川市長：挨拶

(1) 付託案件審査

◎港務局関係

◇議案第66号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第3号）

○山下港湾管理課長：説明

< 質 疑 >

●大條委員：コンテナクレーン整備事業について、これは平成30年に設置したと思うが、これまでに修理とか、不具合とかあったのか。

○山下港湾管理課長：定期的に点検をしており、バッテリーが切れたなどの小さな故障、修繕はあったが、今回のような大きな事故はなかった。

●大條委員：ワイヤーの破断という話は、あまり聞かない事故のような気がするが、ワイヤー自体に問題があったのか、それとも、重量がオーバーしていたということか。

○山下港湾管理課長：ワイヤーロープは、約22tのコンテナをつり上げたときに破断したが、クレーンは41t吊りのものであるため、規格上は問題なかった。ワイヤーロープの表面上は特に問題なかったが、内部に錆が発生していたことから、それが原因で破断したようである。

●高塚委員：航路泊地整備事業について、今回しゅんせつする箇所は座礁をしたところだと思うが、座礁するほどの土砂が堆積していたということで、定期的にこの辺りの堆積状況を船舶関係者へ説明などは行っていたのか。

○山下港湾管理課長：今回しゅんせつするところは、ちょうど柳川の河口で土砂が堆積している状況であったが、これまでは処分先の関係で、しゅんせつできていなかった。市からは特に周知していた訳ではないが、岸壁を利用する業者が限定されており、その業者はその辺は浅いということとは認識していた。

●高塚委員：土砂の処分先について、今回は四国中央市の方で処分するというので、市の方でも受入先を探しているという話も聞いているが、この辺りの状況はどうか。

○山下港湾管理課長：処分先については、埋め立土地に限定される。今回は四国中央市であるが、それまでは山口市の方で処分をしていた。処分先については受け入れ可能期間もあるので、周辺の自治体とかにも照会をかけて、常に探しているような状況である。

●神野委員：以前も同様のしゅんせつ工事をした記憶があるが、何年周期でやるといった計画などはあるのか。こういう事故があって初めて、しゅんせつ工事をするのか。

○山下港湾管理課長：新居浜港の中には、土砂が堆積しているところはかなりある。予算的なこともあるが、今回は座礁もあったため、特に緊急性の高いところからしゅんせつを実施する形で進めている。

*後刻一括採決

休憩 午前10時08分 / 再開 午前10時09分

◎経済部関係

◇議案第66号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第3号）

●越智委員長：歳出第6款農林水産業費のうち、第1項農業費、4目農地費、跨高速道路橋耐震対策事業については、建設部の橋りょう長寿命化事業と同一箇所で一体的に事業を行うものであるため、同事業に係る審議は、主たる事業を実施する建設部の審議の際に、併せて行う旨、ご了承いただきたい。

○小島総括次長（地域交通課長）：説明

< 質 疑 >

●仙波委員：担い手総合支援事業費について、農業機械設備の整備に対し支援するということが、一部補助か全額補助か、どういう補助か。

○菅農林水産課長：県が事業費の3分の1を補助することとなっている。

●神野委員：ふるさと納税被災地支援事業費について、この事業に至った背景は。

○越智観光物産課長：今回のふるさと納税の代理寄付受け付けについては、愛媛県及び県内市町が実地支援に入っている石川県珠洲市より、ふるさと納税を活用した被災地支援を行ってほしいという要請があった。それに併せて、県が実地支援に入っている石川県輪島市についても実施したものである。

●神野委員：総務省がこういうことを推進しているのか。

○越智観光物産課長：そうである。

●高塚委員：実施期間が珠洲市と輪島市で1か月ずれているが、県下全体でこのような期間になっているのか。

○越智観光物産課長：期間については、準備が整った順であり、珠洲市が3月1日から受付開始し、そのあと準備が整った輪島市は4月1日から、県下一斉にスタートした。

*後刻一括採決

休憩 午前10時15分 / 再開 午前10時16分

◎建設部関係

◇議案第66号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第3号）

○町田建設部総括次長（都市計画課長）：説明

○小島経済部総括次長（地域交通課長）：説明

○亀井道路課長：説明

< 質 疑 >

●神野委員：橋りょう長寿命化事業の坂谷橋及び坂谷橋水路橋について、青木あすなろ建設株式会

社が高速道路の橋を現在、耐震化していっていると思うが、今回の耐震補強工事と関係はあるのか。

○亀井道路課長：今回の工事は新居浜市が、緊急輸送道路上にかかっている跨道橋の耐震化を進める工事で、新居浜市とネクスコで委託契約を結んでいる工事である。

●神野委員：ネクスコに発注しているので、下請けにどの会社が入っているかは認識していないということか。

○亀井道路課長：そうである。

●高塚委員：今回の坂谷橋以外に、新居浜市内で耐震化が必要な跨道橋はあるのか。また、今回実測した結果と設計前の寸法が異なる事例はよくある事例なのか。

○亀井道路課長：道路課が管理する跨道橋は、5橋あり、今回の委託契約で、治良丸橋と坂谷橋の耐震化を進めている。治良丸橋は令和5年度に完成した。残る3橋については橋の構造が斜パイラーメン構造であり、落下の事例がないため、この3橋についての耐震化は考えていない。今回の建築限界の件について、下り線は約10センチ、上り線は約20センチの誤差があった。水平力分担構造の部品は約500キログラムあり、その重量物を安全に移動させるため、小スペースの運搬台車を用いて、足場の上を転がしていくが、今回は足場を作ることができないため、高所作業車による作業となる。設計においては、ネクスコから完成図面をもらって設計をしている。実測は交通規制が伴い、交通規制するのに100万円ほどかかるため、設計時点では実測はしていない。工事に入る前に実測をしたところ、その誤差が見つかった。よくあるかどうかといえ、あまりないと思う。

○高橋建設部長：他の工事であれば実際に実測した中で、設計をしていくというのが本来の姿だと思うが、高速道路であるため実際の実測というのが非常に難しいということもあり、当初図面を元にすべての設計を起こしている。当初図面は平成の初めぐらいのもので、30年近く経ってしまっている。その間に道路の舗装などをネクスコ自身が行っていると思うが、詳しい改良や補修の内容までは全部把握できていない。今回の工事は、当初図面の中では、ほぼぎりぎりのラインで工事をする予定であった。前回の治良丸橋の工事ではその中で収まっていたため、今回も同じようにできる見込みであったが、高さがわずかではあるが違っており、工法を変える必要が出てきた。今回の例は、稀なケースだとは思う。

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

○ 閉 会 午前10時30分 閉会

経済建設委員会付託案件表

令和6年9月13日

○港務局関係

議案第66号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第3号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出	第8款	土木費	ハ°-シ°
	第4項	港湾費	5・31
	第11款	災害復旧費	
	第2項	公共土木施設災害復旧費	
	3目	港湾施設災害復旧費	5・34

○経済部関係

議案第66号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第3号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出	第2款	総務費	
	第1項	総務管理費	
	5目	企画費 ふるさと納税被災地支援事業費	5・24
	第6款	農林水産業費	5・28・29

○建設部関係

議案第66号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第3号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出	第8款	土木費	
	第2項	道路橋りょう費	5・30
	第11款	災害復旧費	
	第2項	公共土木施設災害復旧費	
	2目	現年道路橋りょう災害復旧費	5・34